

このお薬は

- 1週間に1回のお薬です。
- 糖尿病の薬です。

気になる症状があらわれた場合は、すぐに医師や薬剤師、看護師に相談してください。

通常の服用

服用日	1週間							次回予定日	
	月	火	水	木	金	土	日	月	火
● 通常の服用	のんだ							のむ	

予定より多く飲んでしまったら？

医師や薬剤師、看護師に相談してください。
次からは、あらかじめ決められた曜日のにんでください。

のみ間違えたときの対応 (月曜日に服用する場合)	1週間							次回予定日	
	月	火	水	木	金	土	日	月	火
● 次回予定日より前にのんでしまった場合	のんだ	間違えてのんでしまった*	間違えてのんでしまった*					のむ#	
● 2錠同時にのんでしまった場合	2錠のんだ*							のむ	

のみ忘れたら？

気づいたときに1錠服用し、次からは、あらかじめ決められた曜日のにんでください。
同じ日に、2錠まとめたのまないでください。

のみ間違えたときの対応 (月曜日に服用する場合)	1週間							次回予定日	
	月	火	水	木	金	土	日	月	火
● 次回予定日より前に気づいた場合	のみ忘れた	気づいたときに1錠のむ						のむ#	
● 次回予定日に気づいた場合	のみ忘れた						1錠のむ	気づいたときに1錠のむ	
● 次回予定日より後に気づいた場合	のみ忘れた						のみ忘れた	以降は月曜日にのむ	

お薬は週に1回、決められた曜日のにんでください。



- 中のPTPシートは、ここから取り出し、分別することができます。
- お薬が取りにくい場合は、ここから取り出すこともできます。

ザファテックには50mg、25mgのお薬もあります。必ず決められた量を、決められた曜日のにんでください。

*低血糖に関する注意事項もあわせてご確認ください。 #：服薬の習慣をつけるため、服薬サイクルを戻すことを優先してください。

ザファテック錠を服用される患者さんへ

医療関係者用

このお薬は

- **1週間に1回**のお薬です。
- **糖尿病**の薬です。

低血糖症状があらわれることがあります

- このお薬とほかの糖尿病の薬(血糖値を下げる薬)を併用した場合に、低血糖症状があらわれることがあります。
- とくに、**インスリン製剤**や**インスリンの分泌を促す薬(スルホニルウレア剤)**との併用で、**低血糖症状のリスクが高まる**おそれがあります。
- 低血糖症状があらわれた場合は、**がまんせずに早めに糖分(砂糖、ブドウ糖など)をとってください。**
ただし、 **α -グルコシダーゼ阻害剤(ボグリボースやアカルボース、ミグリトール)**などの糖分の吸収を遅らせる薬剤を併用している場合には、**必ずブドウ糖**をのんでください。
- 高所作業や自動車の運転など危険を伴う機械を操作しているときに、低血糖症状を起こすと事故につながります。
とくに注意してください。

低血糖症状や倦怠感、吐き気、食欲不振、むくみなど、この薬をのんで不快な症状が気になる場合は医師や薬剤師、看護師に相談してください。



低血糖症状について

低血糖症状は、空腹時に起こり、意識がある場合、食べ物をとると治ることがあります。

▶ 低血糖症状とは？

血液中の糖分が少なくなりすぎた**危険な状態**で、強い異常な空腹感、動悸、冷汗、手足のふるえ、力のぬけた感じ、眼のちらつきが起こります。また頭が痛かったり、ぼんやりしたり、ふらついたり、いつもと人柄が違うような異常な行動をとることもあります。

ひどい場合には、けいれんを起こしたり意識を失うこともあります。

強い異常な空腹感・力のぬけた感じ

手足のふるえ



動悸・冷汗

ぼんやり感

意識消失

▶ 低血糖症状が起こったら？

- 軽いうちは糖分(砂糖、ブドウ糖など)をとると治るので、低血糖症状があらわれた場合は、**がまんせずに早めに糖分をとってください。**したがって、**日頃から常に糖分を持ち歩き、その場ですぐ糖分をとれるようにしておく**ことが必要です。
- 低血糖症状を起こした場合は、必ず早めに医師に報告してください。

▶ 低血糖症状を起こさないために

- お薬の量やのみ方は医師の指導を守りましょう。
- 食事療法・運動療法はきちんと行いましょう。
- 食事時刻の遅れ、食事量または炭水化物の摂取が少ない食事、激しい運動、空腹時の運動は避けるようにしましょう。